

# 平成 30 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	呉市立広小学校
-----	---------

## 1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

- (1) 朝食の欠食率が4%である。
- (2) 給食の残食が多い。(特に野菜を苦手とする児童が多い。)

## 2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

「早寝・早起き・朝ごはん・外遊び」の取組（朝食を食べる児童を100%に近づける。）

## 3 食育の目標に対する具体的な取組

### 【取組1】（テーマ） 早寝・早起き・朝ごはん・外遊びについての取組

#### (1) 保護者への取組

- ・PTA給食学習会で、朝ごはんについての啓発
- ・学年懇談会で朝ごはんについての話し合いを実施
- ・食育通信を通して、簡単にできる朝食メニューの紹介

#### (2) 児童への取組

- ・各教科との関連を図った指導
- ・全校朝会  
「生活リズムについて考えよう」  
「朝ごはんを食べよう」
- ・委員会活動「健康給食委員会」  
校内放送による呼びかけ  
掲示物の作成  
調理実習（ひろしま給食，朝ごはん）
- ・給食放送  
朝食の必要性，生活リズムについて
- ・長期休業中の生活リズムを整えるための「めざましアンケート」の実施
- ・夏季休業中の課題「つくってみよう！自分の朝ごはん」
- ・「早寝・早起き・朝ごはん・外遊び」について「いきいきチャレンジ週間」の実施（年2回）



## 【取組2】(テーマ) 学校給食を活用した食に関する指導

### (1) 第3学年 学級活動 「うんちは体からの手紙」

消化吸収について知らせ、よいうんちを出すためには食物繊維が必要であることに気付かせた。また、給食は食物繊維を多く含む食べ物を意識的に多く使っていることを知らせ、給食を残さず食べるように促した。

### (2) 第6学年 学級活動 「塩分に気をつけた食事のとり方を考えよう」

生きていくためには塩が大切であることを理解した上で、塩分を摂り過ぎない工夫のひとつに「野菜摂取」があることを知らせた。野菜を苦手とする児童が多いため、塩分摂取の面からも野菜が大切であることを気付かせ、好き嫌いせず食べるように継続した指導を行っている。



## 4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

### (1) 保護者への取組

- ・PTA給食学習会で、「ひろしま給食100万食プロジェクト」についての説明を行った。
- ・食育通信とともに、「ひろしま給食100万食をプロジェクト」の依頼文を配付し、取組に対する家庭での協力をお願いした。

### (2) 児童への取組

- ・「ひろしま給食100万食プロジェクト」についての掲示物を作成した。
- ・冬休み子ども料理教室のメニューに「たこポテサラダじゃこ〜!!」, 「フレーフレー!! サンプルぶどうゼリー」を取り入れた。
- ・委員会活動において、「広島レモンハニーチーズトースト」の調理を通して、広島県の地場産物についてさらに理解を深めた。

### (3) 教職員への取組

- ・教職員用資料を作成し、教職員への周知徹底を行った。

## 5 取組に対する成果と課題

### 【成果】

- ・朝ごはんを食べて登校する児童は、アンケートの結果97%であり、高い数値を保つことができている。

### 【課題】

- ・朝ごはんを食べない児童が固定化している。
- ・朝食の内容について実態把握を行い、主食・主菜・副菜をそろえる等の充実を図る必要がある。

## 6 今後の取組に向けた改善方策について

- ・児童実態をもとに目指す子どもの姿を明確にした上で成果指標を設定したり、「食に関する全体計画」及び「食に関する指導の年間指導計画」の見直しを行ったりすることを通して、全教職員のさらなる共通理解を図る。
- ・望ましい生活習慣の確立を目指し、朝ごはんを食べて登校する児童が100%を達成するように保護者・児童への啓発を継続して行う。